

人の一生は重き荷を負ふて
遠き路を行くが如し急ぐ可
らず

若水（京誠一瀬修堂）を
迎ふる人ぞ迷ふらん
御代しかつなる
○ どののみゆきに
君ケ代の
千代をこそほく門松の

屠蘇酒

草根木皮道人
蘇は、鬼の名であつて屠蘇は、鬼を
屠り退治するの義、酒はさかぬの、義
にて、飲めば疾ひさかね蘇ひゆけな
らむといふ。元旦此の屠蘇酒を飲めば
疾病一切、不正の氣を逐ひ、家門繁昌
長命長壽、武運長入したものである
六元帥、大神尊、酒を讃するの歌とい
ふにしへのものかしこきびども

藥として用ひられ。
 「山椒」は、芸香科所屬、山椒の果實の皮であつて、昔時は小兒の蟲下しとして常用したものである。
 「防風」は、繖形科植物ハクフウの二年生を採集したもので、感冒や、レウマチス等に用ひられ。
 肉桂は、樟科に屬するニクケイの樹皮の皮であつて、健胃強壯、體力増進の目的に供用せられ。
 「大黃」は、蓼科植物で、初春未だ萌

社長 峯岸繁太郎

社員 (イ口八順)

石橋 侃
西野 幹
岡成登義
加藤桃睦

謹

春をしるらむ

みねの松ヶ枝香もなう

つめるしらゆき

けさのはつ春

る……調ゆる、和中補氣の効がある
「桔梗」は、キョウワウの蜜漿で、強壯

千鳥足田舎紳士や雪の道
門松や雪の化粧の美しく

徐相翔

京城新聞

會統監に申す

韓帝陛下の御前、臣等、今日、この大朝會に、
臣等、韓帝陛下の御前、今日、この大朝會に、
臣等、韓帝陛下の御前、今日、この大朝會に、

宮中の祝賀次第

天皇
皇后陛下は、宮中にて、東宮及同
親王、皇太子、各宮殿下、各大臣及文
武官の新年祝賀を受けられたる。

東宮御所の祝賀

東宮
及同親王陛下は、青山御所に於て、元
日の祝賀を受けられたる。

韓皇太子の祝賀

韓皇太子
陛下は、麻谷宮邸御所に於て、韓
帝陛下の御前、今日、この大朝會に、

練習艦隊の歸着

練習艦隊
は、練習艦隊は、練習艦隊は、練習艦隊は、

北白川御精勵

北白川御精勵
は、北白川御精勵は、北白川御精勵は、

米觀光團の到着

米觀光團の到着
は、米觀光團の到着は、米觀光團の到着は、

陸軍大演習期

陸軍大演習期
は、陸軍大演習期は、陸軍大演習期は、

京元湖南兩線

京元湖南兩線
は、京元湖南兩線は、京元湖南兩線は、

米實業家の招待

米實業家の招待
は、米實業家の招待は、米實業家の招待は、

各政黨の祝賀式

各政黨の祝賀式
は、各政黨の祝賀式は、各政黨の祝賀式は、

韓皇太子の遊幸

韓皇太子の遊幸
は、韓皇太子の遊幸は、韓皇太子の遊幸は、

大統領と棉小麥

大統領と棉小麥
は、大統領と棉小麥は、大統領と棉小麥は、

北樺太の賣却説

北樺太の賣却説
は、北樺太の賣却説は、北樺太の賣却説は、

日本公債の騰貴

日本公債の騰貴
は、日本公債の騰貴は、日本公債の騰貴は、

攝政王遭難誤傳

攝政王遭難誤傳
は、攝政王遭難誤傳は、攝政王遭難誤傳は、

世界列強の海軍

世界列強の海軍
は、世界列強の海軍は、世界列強の海軍は、

韓米歐州市場

韓米歐州市場
は、韓米歐州市場は、韓米歐州市場は、

滿洲新不凍港

滿洲新不凍港
は、滿洲新不凍港は、滿洲新不凍港は、

韓米歐州市場

韓米歐州市場
は、韓米歐州市場は、韓米歐州市場は、

滿洲新不凍港

滿洲新不凍港
は、滿洲新不凍港は、滿洲新不凍港は、

韓米歐州市場

韓米歐州市場
は、韓米歐州市場は、韓米歐州市場は、

滿洲新不凍港

滿洲新不凍港
は、滿洲新不凍港は、滿洲新不凍港は、

韓米歐州市場

韓米歐州市場
は、韓米歐州市場は、韓米歐州市場は、

軍司令官の招宴

軍司令官の招宴
は、軍司令官の招宴は、軍司令官の招宴は、

京城新年祝賀

京城新年祝賀
は、京城新年祝賀は、京城新年祝賀は、

會統監の參内

會統監の參内
は、會統監の參内は、會統監の參内は、

軍司令官の參内

軍司令官の參内
は、軍司令官の參内は、軍司令官の參内は、

大内氏の渡韓要務

大内氏の渡韓要務
は、大内氏の渡韓要務は、大内氏の渡韓要務は、

日韓同志會の協議

日韓同志會の協議
は、日韓同志會の協議は、日韓同志會の協議は、

京城局の韓語通話

京城局の韓語通話
は、京城局の韓語通話は、京城局の韓語通話は、

上海航路直營計畫

上海航路直營計畫
は、上海航路直營計畫は、上海航路直營計畫は、

製鐵所韓國出張所

製鐵所韓國出張所
は、製鐵所韓國出張所は、製鐵所韓國出張所は、

治外法權

治外法權
は、治外法權は、治外法權は、

治外法權

治外法權
は、治外法權は、治外法權は、

治外法權

治外法權
は、治外法權は、治外法權は、

職業に就ては寧して收利収益が年々多しといふ。併し職業上に骨の折れる事も大層でして、油断も出来ないのである。そして住所居所の轉移も出来ず尤も此住所居所の轉移は職業上から見て後の爲によい事となるを親や近い親戚からの無理無心が多く世話を焼ける事も多い。其上、實際上は失當の甚む事も多くて、收利、収益に差引勘定すると畢竟豊財は出ないものである。次ぎに結婚は一才へ物です。どうしても千秋萬歳といふうな、よわわしい縁は難く、愛なる女です。其仔細は從前から衆心く知れ、其の心にも許してゐる人があつても、其は自己の設備進みにて或は不評判のであつたり、或は眞實誠のない人であつたり、又、うでなくとも、檢所より邪魔障が進入つて婚姻の交渉進行は到底難なる結果を見る事となり、少々御座る事も、大體となりません。尤も、一時の喜稱ゆかぬものでないです。是れも苦情や行き違ひ出来ぬので、結局婚姻問題に歸するより、外に方

肝要です。聊か三二部長が婆心で、御忠告申上げて置ます。

新春の各劇場

▲演劇は春座只一つ
當地春座は既報の如く伊東文夫一座にして新たに泉英、横山研太郎外に大坂より女形一名吉野小二郎の後登として入座し、頗る大一度となりたりと云ひ、この劇にて一齣船越中へ思ひ遣ひ、切り美芝居に盡して船越中役は武田六郎小伊東安三四條中納言(泉英)作五郎井川備前助勝(田中)長門八郎吉井、明石濱之助、小泉英兒、島崎徳兵衛。

▲歌舞伎座は、鑓きにて横風村雨を影寫して好評を博したる活動寫真を今回に不如効とせし換へ際斷つ等、▲浪花村明治吉の同座は浪花節の大座にして左の顔觸れなり何れ三日は丑席をも開演する山。

花家大川、同清之助、三河家圓昇、浪村吉次、東京山悉者、吉川勝時、吉川糸。

●中券番の十内

客年十二月中に於ける中券番藝妓十番位の賣上高は左の如し

なんでも同座なり小僧も破乎しる兎耳、角君君が目出度い新年を迎へられたるに御座り申上げます(係)二十八日第二面に韓國酒類製造に對して島井酒師の眞御披露有之候處、右韓酒及び葡萄酒桃酒は何處に於て醸造致し居らむや候哉、又釀造諸拜具希望致し候條に付御許容此れある可くや御手数ながらら申合せの上平民文庫欄にて三三並に▲委細を記仕、(係)廿五日七夜御座禮を(記者)支那町に濱の屋云ふ料理店があるが龍山の同店しら(知度生)▲兩小門通の富士館云ふ下宿屋に以前から辨居居るが家外來客があるに由り、見送りをする感心なものである(訪問記)▲昨年は御社通信管理局との選手連の主催で歌舞會を催されたが本年は如何です一つ行になつては歌舞多狂)▲今年は流行以外で一つ何方か一寸本年の御起があると思ひます(内)本年は御を慶りたい(小僧)▲日韓合併問題は完用、遺憾で一段落が併し此のまゝき込まし理由にも行くまい此れから

見物でくらう(への字)

吉 凶 祝

一月一日 本町五丁目 三一館特
西貢満三りんば 十一月二十日九条赤口
ゆて不平不黒と地くち巧言令色に陥
ゆる勿れ不黒恩を施して仇と作ら
んとす其他慶運なり大抵の事吉△三
願違ひの日なり大抵吉慶 宴會華業初
等尤も妙△四條 色情を懐しみ兒女
監督に怠る勿れ他吉△五黄 賣買取
引上留すべし地は枯して顧慮なし△
六 些少の事故より怒情を興さず
勿れ引寄せ世話を財多し△七亦 從者
配下より苦情不平と聞かぬあ食品授受
給ふあり△八 家庭内に小波瀾を起
す勿れ酒色賭博を怠り禁す△九 祭本
命日なり厄連日とす萬事謹慎を要す新
年變更効なし争論酒客賭博に堅く戒む

告

小生等新年の休暇を利用し
京畿、京釜兩線へ相別れ出
發致し候間年始欠禮仕候
謹賀新年
京城鐘路通
裁判所西隣
高橋章之助
電話二五六番

賀 明治町三丁目
辯護士 岩田仙宗
電話三五四番

訴訟用歸韓中に付
年賀の禮を欠く
京城南大門通
岩本英夫

旅行中年始欠禮
辯護士 本多 潤

家兄病死の急報に接し東上仕
候間年始の禮を欠く
京城旭町
熊谷 直亮

渡歐中に付年首の
禮を欠く
東京 井上宜文

忌中に付年始の禮
を欠く
京城本町三丁目
松永達次郎
電話七三三番

京城大澳門前
遠藤洋服店
電話三一三三

 <p>謹賀新年</p> <p>東京竹内製金庫 同 衡 器 東 手 提 金 庫 東 堀 井 騰 寫 版 消 火 器 各 種 用 手 形 數 字 打 拔 器 來 船 器 械 的 文 房 具</p> <p>目 丁 一 町 本 城 京 店 支 平 熊 番 二 四 六 話 電</p>	<p>謹賀新年</p> <p>大坂市東區島町二丁目 岡本兄弟商會 電話特東三三九一番 大阪市東區釣鐘町二丁目 岡本 豐 電話連東三三九一番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>大坂市東區島町二丁目 岡本兄弟商會 電話特東三三九一番 大阪市東區釣鐘町二丁目 岡本 豐 電話連東三三九一番</p>  <p>YOKAMOTO BROS & CO PRINTING INKS YOKOSAKA JAPAN</p> <p>諸般美術印刷用各色インキ並 に機械及附屬品一式販賣特許 ラカナン(通刷用)製造發賣元</p>	<p>謹賀新年</p> <p>諸外誌 傲蟻社 新告 廣 聞取 取 年賀 賀</p> <p>日韓諸新聞 廣告取扱 主任 滿生道三郎 電話五〇三番</p> <p>京城旭町三丁目 京城廣告社</p> <p>大坂市西區西三丁目 番七二二 西話電 番七七七 大坂口發振</p>	<p>賀正 伊東文夫 座員一同</p> <p>謹賀新年</p> <p>壽座興行擔當主 櫻井丈太郎</p> <p>歸省中ニ付年頭參 賀ノ禮ヲ缺ク 内田 實</p> <p>京城旭町二丁目 侍合 醉 席 席 電話千六百六十五番</p>
<p>東洋拓殖株式會社</p>	<p>肺病 完全療法</p> <p>本院開特有効藥物療法と慈善養生法及 特別滋養品應用の完全療法は恐へず肺 病も洗ふが如く金治し郵券二枚封入肺 病丸れば對症養生法特効滋養品製法用 法實驗成績防法特効滋養品製法用 道郡御休 横山博愛院</p>	<p>北海樓</p> <p>樓主 中島 順 電話一三三番</p> <p>謹で新年を祝し 奉り候</p> <p>わたくし事こんど當樓を讓 受けまして樓名も藝妓仲居 も舊のまゝにて營業いたし ますれば何卒相かはります ず御眷顧を願上けます</p>	<p>龍山 德久米藏</p> <p>歸朝中に付年末年始の禮 を缺く</p> <p>龍山鎮道廳官舎 岡 正 矣</p>	<p>轉地療養中に付き 歳末年始の禮を欠く</p> <p>神奈川縣鎌倉大町原 十八番行 錫倉別荘 京城支店及 清水文之輔</p>

<p>謹賀新年</p> <p>前島商店</p> <p>京城明治町一丁目四十九番戸</p> <p>電話一三三四番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>歐米雜貨 食料品 洋器具酒</p>  <p>龜屋</p> <p>電話本店二七五番 支店八二七番</p>	<p>新賀年</p> 	<p>謹賀新年</p> <p>平山牧場</p> <p>京城大和町一丁目</p> <p>電話一三三</p>	<p>謹賀新年</p> <p>小森材木店</p> <p>京城旭町一丁目</p> <p>電話七四四</p>	<p>謹賀新年</p> <p>東京火災海上保險株式會社</p> <p>大河内於菟彦</p> <p>電話一〇六〇番</p>
--	--	--	---	---	---



見發氏吉議峰高士博學王
仁川山手町
倉知商會
電話八五〇番

謹賀新年



明治の文運と本館發行諸雜誌との關係は極めて密接也。今年改まる。更に各誌とも大刷新を加へて、世界的刷新の大バノラマたらしめ以て最も進歩したる讀者諸君の親友たらしむとを期す。殊に各誌の大附録は創作繪畫共に現時の代表的大家の苦心に成り、各獨得の光彩と新趣味を發揮す。寔に庚戌誌壇の偉觀たり。

新年の各雜誌には、圖書、雑誌、割引券、及び本館圖書目録を添付せり。

謹賀新年
和洋紙、和洋諸帳簿、文房具商、人名簿製造、活版印刷、和洋製本
支店 本町五丁目廿一番戸 (電話千三百三番)
本町五丁目
同 活版印刷部

北内淺吉

(電話一一五番)

謹賀新年

京城本町一丁目七番戸

謹賀新年

増本好三郎

明治大學出身
住宅 京城堀町一丁目(支店)
事務所 京城錦町二丁目(支店)

謹賀新年
仁川本町一丁目
藤木商店
電話四〇番
支店 京城南大門通二丁目
電話五八三番

太陽 實業少年 農業世界 文藝俱樂部 冒險世界 幼年畫報

第十第一號 元旦正價 初刊 金三十銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金四圓六十八銭
◎附録 短篇小説 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第九第一號 元旦正價 初刊 金十二銭
前金郵税共十四番(増刊四回) 金二圓八十六銭
◎附録 實業家大分類 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第四第一號 元旦正價 初刊 金十銭
前金郵税共十二番(増刊四回) 金一圓十四銭
◎附録 世界交通全圖 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第五第一號 元旦正價 初刊 金二十銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金三圓十二銭
◎附録 農家年中曆 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第十第一號 元旦正價 初刊 金二十五銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金三圓九十銭
◎附録 重寶壽語 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第三第一號 元旦正價 初刊 金十五銭
前金郵税共十四番(増刊四回) 金二圓五銭
◎附録 マラソン走 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第五第一號 元旦正價 初刊 金十銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金二圓四十八銭
◎附録 犬のボンチ 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥

文學世界 少女世界 少年世界 中學世界 英語世界 文章世界 數學世界

第十第一號 元旦正價 初刊 金二十銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金三圓十二銭
◎附録 婦人風俗雙六 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第五第一號 元旦正價 初刊 金十銭
前金郵税共十四番(増刊四回) 金二圓五銭
◎附録 女學校雙六 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第十第一號 元旦正價 初刊 金十二銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金一圓六十四銭
◎附録 少年丸 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第十第一號 元旦正價 初刊 金二十銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金三圓十二銭
◎附録 日本學生の歌 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第四第一號 元旦正價 初刊 金十銭
前金郵税共十二番(増刊四回) 金一圓十二銭
◎附録 西洋七頭龍 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第五第一號 元旦正價 初刊 金二十銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金三圓十二銭
◎附録 短篇小説數品 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥
◎第十第一號 元旦正價 初刊 金十五銭
前金郵税共十六番(増刊四回) 金二圓三十銭
◎附録 智恵く數學駒飛 藤田秋武、田山花袋、正宗白鳥

館文博京東